

# 温室みかんの防カビ実験レポート

## 1、目的

温室みかんのカビの発生に対し、カラシード分包の防カビにおける効果を確認するため実験を行った。

## 2、実験期間及び場所

1998年7月6日より1998年7月13日（8日間）  
虎変堂 保管庫内

## 3、使用食材及び使用包材

温室みかん 5kg  
ダンボール（25cm×36cm×14cm）

## 4、保管温度

常温（26℃～31℃ 湿度 50%R.H.～64R.H.）

## 5、使用分包

カラシード RJタイプ

## 6、試験方法

検体のみかんが入った5kg用ダンボールの底に、RJタイプ4包入りを用意する。また、対象として何も入れていないタイプ（ブランク）を用意する。これらの検体をそれぞれ2箱ずつ用意、各検体のカビの発生状況を比較する。

## 7、結果

次項参照

## 8、結論及び考察

今回の実験で、カラシード分包入りの検体とブランクとの間には、カビの発生について明確な差異が認められた。

ブランクは2箱中1箱のカビの発生が著しかった。

また、カラシード分包を使用することでの味移りや果皮の焼けは無かった。

## 温室みかんの防カビ実験 結果

	カビ	水腐	良好	合計個数	ダメージ発生率
blank No.1	7	6	57	70	18.6%
blank No.2	2	1	67	70	4.3%
RJ 4包入り No.1	1	0	69	70	1.4%
RJ 4包入り No.2	0	0	68	68	0.0%



